



イベント名

海から元気を 7.17

目的・趣旨

ダイバーが海から元気を発信し、復興支援につなげる

※「できること。潜ること。」プロジェクトの趣旨もあわせてご覧ください(別紙)

内容

★イベント当日

7月17日(日)に、共通のリングをつけて、一斉に潜る。

→1番大事なことは、みんなで意識を共有し一斉に行動を起こすこと。

★イベント後



「笑顔でワンピース!」

■潜ったグループで写真を撮って イベントHPへ送ってください。 皆さんの写真が大きなパズル の ワンピースとなって、ハッピーで

ピースな元気をお届けします!

- ■ダイビングエリア全体で参加者全員を撮影し、イベントHPでアップします。
- ※併せて、皆さまのHPでも写真をアップしていただければ、より元気を発信できます。

■お申し込み

お近くの協力店に参加を申し込み、リングを受け取り潜るだけ!

※協力店一覧は HP をご覧ください。

★リングの購入について

1つ100円で購入いただきゲストに配布。その収益は支援金に回ります。

※リング見本

• • • • • できること。 溜ること。 海から元気を • • • • • •

★復興支援について

リングの売上は微々たる金額かもしれません。しかし、ダイバーが海に行くことによる経済効果で、 ダイビング界を活性化させることも復興支援だと考えます。

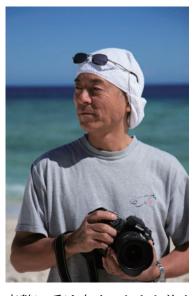
- ■詳細は公式ホームページから http://www.dekimogu.net/
- Facebook ページ https://www.facebook.com/dekimogu
- ■問い合わせ:「できること。潜ること。」プロジェクト実行委員会 dekimogu@gmail.com

"できること。潜ること。"プロジェクト

【発足趣旨】

3月11日に発生した東日本大震災。直接的な被害はもちろん、自粛ムードによる影響で、ダイビング界を含むレジャー産業に大きな打撃を与えています。我々ができることは、直接支援だけでなく、よく働き、よく遊び、、普通の生活、をしっかり営むこと。そして、ダイバーができることといえば、潜ること。そこで、まずは元気に潜って、復興支援につながるイベントを企画したいと考え、プロジェクトを発足しました。





【実行委員長あいさつ】

このたびの東日本大震災により、犠牲になられた皆様、被災された皆様方には、衷心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興を切に望むばかりです。

思い返せば私にも、北海道南西沖地震で壊滅的被害を受けた奥尻島において、30メートルにも及ぶ大津波に見舞われ、危機一髪生還するという忘れがたい体験があります。

津波は海がもたらした自然災害と思われがちですが、大陸棚のプレートの変動によって大津波がもたらされたことを考えると、海は加害者でもあり、被害者でもあると考えられます。

海に恩恵を受け、海に生かされてきた私たちにとって、悲しい現実は

真摯に受け止め、しかし海と向き合っていこうという、強い意志も持ち続けたいものです。

ここに、志をひとつとする多くの仲間が集結しました。皆で海に向かうことが復興支援につながる。 この思いで私たちは行動します。初ダイビングの感動を思い出しましょう。海も、生きものたちも、 私たちの訪れを待ってくれています。一人でも多くのダイバーの参加を願っています。

水中写真家 中村征夫(なかむらいくお)



【実行委員発足までの経緯】

趣旨に賛同してくれるダイバーを、業界内外から広く募集し5月16日にキックオフミーティングを開催。有志による実行委員会を発足し、そこで生まれたアイデアをもとに「できること。潜ること。」プロジェクトとし、5月25日、6月8日、6月14日と会議を開催してまいりました。

【プロジェクト展開】

今後も気軽にダイバーが参加できるオープンな場を目指し、 単発のイベントで終わることなく長期的なプロジェクトとし てダイバーによる復興支援を続けていく所存です。

■公式ホームページ http://www.dekimogu.net/

■ Facebook ページ https://www.facebook.com/dekimogu